

# 2015年度第2四半期決算について

2015年10月29日  
新日鐵住金(株)

## <損益実績(連結)>

	2015 上期	2014 上期	2014上期 →2015上期	2015上見 (7/29公表)
売上高	25,075	27,784	- 2,709	25,000
経常利益	1,298	1,763	※1 - 465	1,500
[ROS]	[5.2%]	[6.3%]	[-1.1%]	[6.0%]
特別損益	475	▲49	※2 + 524	
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,201	1,122	+ 79	1,150
*1 <1株当たり当期純利益>	< 131.2 >	< 123.0 >	< + 8.2 >	< 125.6 >
*2 [ROE]	[8.1%]	[8.2%]	[-0.1%]	
有利子負債	21,795	20,779	*3 + 1,016	
D/Eレシオ	0.75	0.74	+ 0.01	

## <諸元>

### (1)当社

	2015 上期	2014 上期	2014上期 →2015上期	2015上見 (7/29公表)
連結粗鋼生産量(万t)	2,227	2,402	- 176	2,230程度
単独粗鋼生産量(万t) *1	2,107	2,288	- 181	2,120程度
鋼材出荷量(万t) *1	1,964	2,111	- 146	1,990程度
鋼材価格(千円/t) *1	81.3	86.8	- 5.5	81程度
為替(円/\$)	122	103	19円安	123程度

\*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

### (2)全国

	2015 上期	2014 上期	2014上期 →2015上期	2015上見 (7/29公表)
粗鋼生産量(万t)	5,207	5,556	- 350	5,206程度
鋼材消費(万t) *2	3,124	3,208	- 84	3,120
(うち 製造業)	(1,978)	(2,032)	(-54)	(1,976)
<製造業比率>	< 63.3% >	< 63.3% >	< - 0.0% >	< 63.3% >
普通鋼材消費(万t)	2,471	2,544	- 73	2,467
建設	1,088	1,116	- 28	1,086
製造業	1,383	1,428	- 45	1,381
特殊鋼材消費(万t)	653	664	- 11	653
国内メーカー問屋在庫(万t)	*3 586	593	- 7	
薄板三品在庫(万t)	*3 425	431	- 5	

\*2 当社推定値 \*3 8月末(確報)

\*1 平成27年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

\*2 年率換算

\*3 2015年7月に実施したハイブリッド証券から劣後ローンへのリファイナンス影響：有利子負債3,000億増、非支配持分3,000億円減

## ※1 連結経常利益差異の内訳

(単位:億円)

	2014上期 →2015上期	対前回
連結経常利益 差異	- 460	- 200
1. 製鉄事業	- 480	- 190
① 生産出荷	- 540	- 80
② 販売価格・構成	- 2,350	~
③ 原料価格(キャリアー含む)	+ 2,500	~
④ コスト改善(統合効果含む)	+ 120	~
⑤ 在庫評価差	- 210	+ 40
⑥ グループ会社	- 300	- 50
⑦ 為替	+ 100	- 30
⑧ その他	+ 200	- 70
2. 非鉄事業	- 10	~
3. 調整額	+ 30	- 10

## ※2 特別損益内訳

(単位:億円)

	2015 上期	2014 上期	2014上期 →2015上期
特別損益合計	475	▲49	+ 524
投資有価証券売却益	-	52	- 52
関係会社株式売却益	334	-	+ 334
受取和解金	300	-	+ 300
設備休止関連損失	▲158	▲101	- 57

## <セグメント情報>

(単位:億円)

	2015 上期	2014 上期	2014上期 →2015上期	2015上見 (7/29公表)
売上高	25,075	27,784	- 2,709	25,000
製鉄	22,025	24,662	- 2,637	21,900
エンジニアリング	1,402	1,553	- 151	1,400
化学	1,013	1,122	- 109	1,060
新素材	178	182	- 4	180
システムソリューション	1,062	948	+ 114	1,010
調整額	▲ 606	▲ 684	+ 78	▲ 550

	2015 上期	2014 上期	2014上期 →2015上期	2015上見 (7/29公表)
経常利益	1,298	1,763	- 465	1,500
製鉄	1,107	1,591	- 484	1,300
エンジニアリング	21	48	- 27	40
化学	31	43	- 12	40
新素材	16	11	+ 5	10
システムソリューション	101	72	+ 29	80
調整額	20	▲5	+ 25	30

## 【剰余金の配当(第2四半期末)について】

当第2四半期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、第1四半期決算発表時(2015.7.29)に公表致しましたとおり、1株につき3円とさせていただきますことと致しました(連結配当性向22.9%)。

なお、期末の配当につきましては、第3四半期決算発表時に、年度見通しの当期利益を踏まえて判断し、公表する予定です。

# 2015年度業績見通しについて

## <損益見通し(連結)>

(単位:億円)

	2015年度			2014FY	2015上期 →2015下見	2014FY →2015FY見	2015FY見 (7/29公表)
	2015 上期	2015 下見	2015FY見				
売上高	25,075	24,925	50,000	56,100	- 150	- 6,100	51,000
経常利益 [ROS]	1,298 [5.2%]	1,202 [4.8%]	2,500 [5.0%]	4,517 [8.1%]	※1 - 96 [-0.4%]	※2 - 2,017 [-3.1%]	3,700 [7.3%]
親会社株主に帰属 する当期純利益 * <1株当たり当期純利益>	1,201 < 131.2 >	599 < 64.8 >	1,800 < 196.0 >	2,142 < 234.8 >	- 602 < - 66.4 >	- 342 < - 38.8 >	2,600 < 282.9 >

\* 平成27年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

## <諸元>

### (1) 当社

※1・2 連結経常利益 差異の内訳 (単位:億円)

	2015上期 →2015下見	2014FY →2015FY見
連結経常利益 差異	- 100	- 2,020

連結経常利益 差異	2015上期 →2015下見	2014FY →2015FY見
<b>1. 製鉄事業</b>	<b>- 110</b>	<b>- 1,920</b>
① 生産出荷	+ 220	- 670
② 販売価格・構成	- 1,500	- 4,900
③ 原料価格(キャリーオーバー含む)	+ 700	+ 4,400
④ コスト改善(統合効果含む)	+ 280	+ 400
⑤ 在庫評価差	+ 60	- 410
⑥ グループ会社原料権益・在庫評価差等)	+ 150	- 500
⑦ 為替	- 170	- 160
⑧ その他	+ 150	- 80
<b>2. 非鉄事業</b>	<b>+ 60</b>	<b>- 40</b>
<b>3. 調整額</b>	<b>- 50</b>	<b>- 60</b>

	2015 FY見		2014 FY	2015上期 →2015下見	2014FY →2015FY見
	上期	下見			
連結粗鋼生産量(万t)	2,227	2,290程度	4,520程度	4,732	+ 63程度 - 212程度
単独粗鋼生産量(万t)*1	2,107	2,170程度	4,280程度	4,496	+ 63程度 - 216程度
鋼材出荷量(万t) *1	1,964	2,040程度	4,000程度	4,188	+ 76程度 - 188程度
鋼材価格(千円/t) *1	81.3	73程度	77程度	87.2	- 8程度 - 10程度
為替(円/\$)	122	120程度	121程度	109	2程度円高 12程度円安

\*1 日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

### (2) 全国

	2015 FY見		2014 FY	2015上期 →2015下見	2014FY →2015FY見
	上期	下見			
鋼材消費(万t) *2	3,124	3,219	6,343	6,419	+ 95 - 75
(うち製造業)	(1,978)	(2,031)	(4,009)	(4,062)	(+ 53) (- 52)
<製造業比率>	< 63.3% >	< 63.1% >	< 63.2% >	< 63.3% >	< - 0.2% > < - 0.1% >
普通鋼鋼材消費(万t)	2,471	2,568	5,038	5,105	+ 97 - 66
建設	1,088	1,130	2,218	2,238	+ 42 - 20
製造業	1,383	1,438	2,821	2,867	+ 54 - 46
特殊鋼鋼材消費(万t)	653	652	1,305	1,314	- 2 - 9

\*2 当社推定値

## <セグメント情報>

(単位:億円)

連結経常利益 前回公表からの差異 (単位:億円)

連結経常利益	3,700→2,500	対前回 - 1,200
<b>1. 製鉄事業</b>	<b>- 1,150</b>	
・生産出荷	- 70	
・販売価格・構成・原料	- 650	
・グループ会社	- 150	
・在庫評価、為替	- 130	
・コスト改善	- 100	
・その他	- 50	
<b>2. 非鉄事業</b>	<b>- 50</b>	
<b>3. 調整額</b>	<b>~</b>	

	2015 FY見		2014FY	2015上期 →2015下見	2014FY →2015FY見	2015FY見 (7/29公表)	
	上期	下見					
売上高	25,075	24,925	50,000	56,100	- 150	- 6,100	51,000
製鉄	22,025	21,675	43,700	49,392	- 350	- 5,692	44,700
エンジニアリング	1,402	1,798	3,200	3,486	+ 396	- 286	3,200
化学	1,013	987	2,000	2,127	- 26	- 127	2,100
新素材	178	182	360	364	+ 4	- 4	400
システムソリューション	1,062	1,158	2,220	2,060	+ 96	+ 160	2,110
調整額	▲ 606	▲ 874	▲ 1,480	▲ 1,331	- 268	- 149	▲ 1,510

	2015 FY見		2014FY	2015上期 →2015下見	2014FY →2015FY見	2015FY見 (7/29公表)	
	上期	下見					
経常利益	1,298	1,202	2,500	4,517	- 96	- 2,017	3,700
製鉄	1,107	993	2,100	4,019	- 114	- 1,919	3,250
エンジニアリング	21	99	120	187	+ 78	- 67	180
化学	31	19	50	68	- 12	- 18	70
新素材	16	9	25	24	- 7	+ 1	25
システムソリューション	101	109	210	165	+ 8	+ 45	175
調整額	20	▲ 25	▲ 5	50	- 45	- 55	0

(注) 上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 《参考》既公表案件について

事業統合及び再編等に関する公表案件

### ・既実行案件

年度	時期	案件
2013年度	2013.4月	(日鉄住金物流(株)の発足) 日鉄物流(株)と住友金属物流(株)の統合再編
	2013.4月	(日鉄住金テクノロジー(株)の発足) (株)日鉄テクノリサーチと住友金属テクノロジー(株)の統合
	2013.4月	(日鉄住金神鋼シャーリング(株)の発足) (株)日鉄神鋼シャーリングと(株)シーヤリング工場の合併
	2013.9月	(日鉄住金直江津チタン(株)の設立) チタン素材溶解事業に関する東邦チタニウム(株)との合併
	2013.10月	(日鉄住金鋼管(株)の発足) 住友鋼管(株)と日鉄鋼管(株)の合併
	2013.10月	(日鉄住金物産(株)の発足) 住金物産(株)及び日鉄商事(株)の経営統合
	2013.10月	(日鉄住金テックスエンジ(株)の発足) 太平工業(株)及び(株)日鉄エレックスの経営統合
	2014.1月	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編) 海外事業会社の管理一元化
2014年度	2014.4月	(当社製鉄所組織の統合・再編成) 製鉄事業競争力の更なる強化を目的とした当社製鉄所組織の統合・再編成
	2014.4月	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編) 販売品種の再編・最適化
	2014.7月	(新日鐵住金グループにおけるスラグ販売会社の統合・再編) スラグ販売会社4社の事業統合・再編
	2014.10月	(新日鐵住金グループにおける設備エンジ・保全系会社の経営統合) 設備エンジ・保全系 当社連結子会社8社の経営統合
	2015.1月	(子会社株式の譲渡) 日鉄住金エレクトロデバイス(株)の全株式の日本ガイシ(株)への譲渡
2015年度	2015.4月	(新日鐵住金グループ会社の鉄道関連事業の統合再編) 鉄道エンジニアリング事業の統合再編及び製鋼所製造プロセス会社としての統合再編
	2015.6月	(ユニプレス(株)の持分法適用関連会社化) ユニプレス(株)との連携強化による自動車用プレス部品のグローバル競争力強化
	2015.8月	(日鉄住金テックスエンジ(株)の完全子会社化について) 新日鐵住金(株)による日鉄住金テックスエンジ(株)の株式交換による完全子会社化
	2015.9月	(鈴木金属工業(株)の完全子会社化について) 新会社名: 日鉄住金SGワイヤ(株) 新日鐵住金(株)による鈴木金属工業(株)の株式交換による完全子会社化

### ・その他既公表案件等

年度	時期	案件
2014年度	2014.12月末～ (2014.5月公表)	(新日鐵住金グループにおける電縫管事業の再編について) 国内生産体制の最適化
2015年度	2016.2月～ (2015.9月公表)	(大阪製鐵(株)による公開買付けの開始予定について) 大阪製鐵(株)による東京鋼鐵(株)株式の取得及び子会社化

新日鐵住金株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 高橋 望

TEL (03)6867-2130

<2016年3月期 第2四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
	2014年度	2,767	2,789	5,556	2,754	2,674	5,428
2015年度	2,585	2,621	5,207	(※)2,653程度			

(※)経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー問屋在庫 万トン	(在庫率) %	薄板三品：熱延＋冷延＋表面処理 万トン	ときわ会H形鋼 万トン
2013. 9 末	553	(133.5)	388	18.7
2013.10 末	561	(135.0)	388	18.0
2013.11 末	549	(125.5)	382	18.0
2013.12 末	565	(138.5)	393	18.5
2014. 1 末	576	(136.4)	409	20.0
2014. 2 末	574	(141.0)	399	22.0
2014. 3 末	569	(126.5)	411	23.4
2014. 4 末	567	(139.0)	413	22.9
2014. 5 末	579	(143.4)	424	23.1
2014. 6 末	583	(142.9)	420	22.1
2014. 7 末	559	(130.3)	410	21.5
2014. 8 末	593	(162.7)	432	21.1
2014. 9 末	591	(142.3)	431	21.3
2014.10 末	587	(138.3)	425	20.8
2014.11 末	595	(150.1)	425	20.6
2014.12 末	594	(157.4)	418	20.7
2015. 1 末	598	(153.0)	432	21.1
2015. 2 末	591	(156.4)	427	21.8
2015. 3 末	584	(137.4)	431	21.8
2015. 4 末	573	(156.0)	423	20.6
2015. 5 末	587	(161.8)	431	20.7
2015. 6 末	573	(147.3)	420	20.1
2015. 7 末	563	(144.3)	407	19.7
2015. 8 末	586	(168.9)	425	19.8

[当社]

3. 出銑量 (当社+北海製鉄+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	1,105	1,160	2,264	1,135	1,091	2,227	4,491
2015年度	1,045	1,091	2,136			2,190程度	4,330程度

4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社+国内連結子会社

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	1,186	1,216	2,402	1,183	1,147	2,330	4,732
2015年度	1,089	1,138	2,227			2,290程度	4,520程度

【参考：単独ベース】 当社+日鉄住金鋼鉄和歌山

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	1,129	1,159	2,288	1,120	1,088	2,208	4,496
2015年度	1,031	1,076	2,107			2,170程度	4,280程度

5. 鋼材出荷量 (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	1,043	1,068	2,111	1,032	1,045	2,077	4,188
2015年度	985	979	1,964			2,040程度	4,000程度

6. 鋼材平均価格 (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	87.6	86.0	86.8	88.7	86.4	87.5	87.2
2015年度	82.8	79.8	81.3			73程度	77程度

7. 鋼材輸出比率 (金額ベース) (当社+日鉄住金鋼鉄和歌山)

単位:%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2014年度	46	47	46	48	48	48	47
2015年度	48	46	47			43程度	45程度

## 8. 為替レート

単位:円/\$

	第1四半期		第2四半期		上期	第3四半期		第4四半期		下期	年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期							
2014年度	102	103	103	113	103	113	119	116	109	116	109
2015年度	121	122	122		122			120程度	121程度	120程度	121程度

## 9. 設備投資額（工事ベース）及び減価償却費

【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2014年度	3,043	3,200
2015年度	3,100程度	3,200程度

以 上